

(1) 協働による「共生の市政」の推進

○木津川市行財政改革行動計画進行管理表（平成25年3月末現在進捗状況）

改革項目	実施内容	担当課	前年度評価区分	進行管理(効果見込額 単位:千円)					計画期間中(H20~24)の財政効果見込額	平成24年度取組方針 (公表済事項)	平成24年度取組実績	5年間の総括
				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度				
1 NPO等市民活動の支援	① 市ホームページ上で検索できるシステムの構築 H20.4.1現在 NPO法人数12団体 H21.4.1現在 NPO法人数14団体 H22.4.1現在 NPO法人数16団体 H23.4.1現在 NPO法人数17団体 H24.4.1現在 NPO法人数17団体	学研企画課	行動計画	調査・研究	→	実施	/	/			京都府が立ち上げているNPO協働ポータルサイトへリンクを行い、本市に所在するNPO法人を検索できるようにした。	
				調査・研究	→	実施	/	/				
2 自主防災組織の育成支援	① 自主防災組織等活動助成制度の充実 H20 組織数19団体(組織率 43%) H21 組織数21団体(組織率 58%) H22 組織数25団体(組織率 65%) H23 組織数25団体(組織率 70%) H24 組織数26団体(組織率 70%)	危機管理室	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、加茂町菟並地区・州見台地区への支援を実施する。転入等による新しい住民の方に対し、自治会への加入を勧め、地域の防災力を上げるように啓発を行う。	加茂町菟並西区内において、自主防災会発足。地域長会議において、未設置地域における自主防災会設置を要望	未発足の地域において、地域の総会等で防災意識の向上を図る為、防災組織の必要性や木津川市において発生するであろう災害について講演を行ない、組織の充実に繋がった。	
			実績(B)	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒				
		② 防災リーダー養成講座や研修会への参加案内	危機管理室	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、リーダー育成を目指し、研修会等の案内を送付し、各種機会の提供に努める。	京都府で実施された防災研修会等を案内し、自主防災会の参加を促した。	防災の講演会や訓練等の案内を行い、DIG等の図上訓練などに参加し、防災知識の向上に繋がった。
	③ 木津川市自主防災会全体会議の開催	危機管理室	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、各自主防災組織の実情に応じた活動支援を継続する。	会議を実施し、木津川市の水害について、水害に強いまちづくり協議会より、講演をしていただき、水害について学習しました。自主防災会の活動の参考となるよう、マニュアルを作成しました。	全体会議を実施することにより、防災組織同士での意見交換等が行われ、活動が盛んな組織の活動内容を参考にするなど、組織間の交流が行われた。	
3 市民提案型助成制度の創設	① 市民提案型助成制度の創設	学研企画課(関係課)	行動計画	調査・研究	→	→	段階実施	⇒	引き続き、先進事例を調査するとともに京都府地域力再生プロジェクト事業交付金を活用する。	京都府地域力再生プロジェクト交付金事業をPR・活用した。24年度交付団体数:10団体	5年間で合計53事業が京都府地域力再生プロジェクト交付金を活用した。今後も引き続き、先進事例を調査するとともに、京都府地域力再生プロジェクト事業交付金を活用する。 H20 10件 H21 10件 H22 11件 H23 12件 H24 10件	
			実績(B)	調査・研究	→	→	→	→				
4 市民参加の「ガイドライン」の策定	① 市民参加の「ガイドライン」の研究	学研企画課(関係課)	行動計画	調査・研究	→	→	素案検討	→	引き続き、先進事例の調査・研究を進める。	先進事例の調査・研究を進めた。	先進事例の調査・研究に留まっている。	
			実績(B)	調査・研究	→	→	→	→				
	② 「市民参加条例」の検討	学研企画課	行動計画	調査・研究	→	→	素案検討	→	引き続き、先進事例の調査・研究を進める。	先進事例の調査・研究を進めた。	先進事例の調査・研究に留まっている。今後は、木津川市総合計画後期基本計画策定にかかる市民アンケートを実施し、市民のニーズを見極めた上で進め方を検討する。	
			実績(B)	調査・研究	→	→	→	→				
5 コミュニティ施策の検討	① コミュニティ施策の推進	関係課(総務課)	行動計画	調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒	引き続き地域長会議並びにブロック会議等を開催し、地域コミュニティ組織の活性化、新たな設置に向けた情報提供や支援を継続する。	地域長会議を春(4.26)と秋(10.31)及び臨時会議H25.2.8に開催し、地域コミュニティに関する施策等の説明を行った。また、各行政地域が抱える課題等について、複数の行政地域が集まって意見(情報)交換できる場としてブロック会議を11.22、24、29に開催し、地域の円滑な活動の促進に取り組んだ。	合併後、懸案であった区の再編、新たな地域長制度を平成21年度にスタートさせ、旧町単位のコミュニティ制度の統一を図った。制度発足当初は、地域単位での諸問題もあったが、発足から4年を経て市として制度が徐々に定着しつつあると考える。	
			実績(B)	調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒				
	② 行政地域制度の創設	総務課	行動計画	調査・研究	実施	/	/	/			平成21年4月に新たな行政地域制度を施行した。	
				調査・研究	実施	/	/	/				
6 ごみゼロ運動の推進	① 3R活動を通じたごみゼロ運動(ごみの減量化)の推進 H19 市民1人当たり平均排出量 可燃物162kg、不燃物42kg、粗大10kg H20 市民1人当たり平均排出量 可燃物161kg、不燃物41kg、粗大9kg H21 市民1人当たり平均排出量 可燃物161kg、不燃物40kg、粗大9kg H22 市民1人当たり平均排出量 可燃物157kg、不燃物41kg、粗大9kg H23 市民1人当たり平均排出量 可燃物158kg、不燃物40kg、粗大9kg H24 市民1人あたり平均排出量 可燃物158kg、不燃物40kg、粗大9kg	まち美化推進課	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、ごみ減量化の推進を図る。	一般廃棄物の発生抑制・減量化を進めるための施策として、木津川市ごみ減量化推進計画(もったいないプラン)を策定した。	平成24年度に、一般廃棄物の発生抑制・減量化を進めるための施策として、「木津川市ごみ減量化推進計画(もったいないプラン)」を策定した。ごみゼロ運動を推進できた。今後、「木津川市ごみ減量化推進計画(もったいないプラン)」に基づき、ごみの減量化を推進する。	
			実績(B)	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒				

(1) 協働による「共生の市政」の推進

○木津川市行財政改革行動計画進行管理表（平成25年3月末現在進捗状況）

改革項目	実施内容	担当課	前年度評価区分	進行管理(効果見込額 単位:千円)					計画期間中(H20~24)の財政効果見込額	平成24年度取組方針(公表済事項)	平成24年度取組実績	5年間の総括
				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度				
7 人材バンク制度の導入	① 人材リスト登録事業の実施 H20.4.1 人材リスト登録者数 51名 H21.4.1 人材リスト登録者数 59名 H22.4.1 人材リスト登録者数 67名 H23.4.1 人材リスト登録者数 71名 H24.4.1 人材リスト登録者数 76名 H25.3.31 人材リスト登録者数 73名	人権推進課	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、人材リストへの登録を促進し、各審議会等委員の男女構成比の均等確保をはじめ、各種講座等の講師選定、その他男女共同参画社会を推進するために、全庁全部署に登録者情報を提供し、活用の推進を図っていく。また、登録者の募集についても、市ホームページ及び広報にて周知する。	人材リスト登録管理台帳の整理を実施し、登録内容の更新を行った。前年度登録者より、8名の登録抹消(申し出、死亡等)があったが、新たに5名の登録者があり73名となった。利用としては、講座講師に5名、講座託児に4名の活用を図った。リスト登録については、広報及び市ホームページより募集を行った。	登録者数も51名から73名と43%の増加ができた。活用についても、各種講座等の講師等の選定に活用し、また各種委員への委員選定に活用することができた。今後も、引き続き人材リストへの登録(広報紙・市ホームページにて周知)を促進し、活用(全庁全部署に登録者情報の提供)の推進を図っていく。	
8 パブリック・インボリューションの導入	① パブリック・インボリューションの実施	関係課	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒				
9 アダプトプログラムの導入	① アダプトプログラムの実施 H19 登録実績 28団体 697人 H20 登録実績 31団体 936人 H21 登録実績 36団体 1,029人 H22 登録実績 39団体 1,057人 H23 登録実績 43団体 1,224人 H24 登録実績 46団体 1,945人	関係課(まち美化推進課)	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、制度の啓発及び登録団体の拡大に努める。	新規団体の呼び込みに努めた。必要物品の支給、貸与等、細やかな支援を実施した。	5年間で登録団体が18団体増加し、より一層、環境美化の意識向上につながった。今後も引き続き、制度の啓発と登録団体の拡大に努める。	
10 審議会・協議会の活性化	① 公募等の指針の策定	人事秘書課	行動計画	調査・研究	→	実施	/	/			平成23年4月施行で、木津川市審議会等の設置及び運営等に関する指針、及び木津川市審議会等の委員の公募に関する規程を定めた。	
	② 審議会等の運営方針の策定	関係課(人事秘書課)	行動計画	継続実施	⇒	⇒	/	/			平成23年4月施行で、木津川市審議会等の設置及び運営等に関する指針、及び木津川市審議会等の会議公開に関する規程を定めた。	
11 意見提出制度の導入	① 意見提出制度の実施(パブリックコメント) H19 パブリックコメント 5件 H20 パブリックコメント 5件 H21 パブリックコメント 4件 H22 パブリックコメント 3件 H23 パブリックコメント 5件 H24 パブリックコメント 16件	学研企画課(関係課)	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、政策会議提案文書等により、パブリックコメントの必要性をチェックしていく。	下記の16件について、パブリックコメントを実施した。 【実施案件】 ・木津川市企業立地促進条例(案) ・「木津川市営住宅管理条例の一部を改正する条例(中間案)」及び「木津川市公営住宅整備基準条例(中間案)」 ・木津川市ごみ減量化推進計画(もったいないプラン)中間案 ・「木津川市道の構造の基準に関する条例(中間案)」 ・「木津川市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例(中間案)」 ・「道路法に基づく道路標識の寸法に関する条例(中間案)」 ・「木津川市準用河川における河川管理施設の構造的基準に関する条例(中間案)」 ・「木津川市都市公園等の設置の基準に関する条例(中間案)」 ・「木津川市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例(中間案)」 ・木津川市立当尾小学校跡地利活用の方針(案) ・「木津川市暴力団排除条例の制定(中間案)」 ・木津川市営住宅ストック総合活用(長寿命化)計画(中間案) ・介護保険指定地域密着型サービスに係る人員、設備及び運営に係る基準を定める条例の制定について ・介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について ・木津川市環境基本計画(中間案) ・第2次木津川市行財政改革大綱(中間案)	5年間で38件のパブリックコメントを実施した。 H19年度 5件 H20年度 5件 H21年度 4件 H22年度 3件 H23年度 5件 H24年度 16件	
12 ホームページの拡充等による情報提供の推進	① 職員講習会・説明会の実施(毎年1回開催)	学研企画課(全課)	行動計画	実施	調査研究	実施	⇒	⇒	平成24年4月1日から、市ホームページのリニューアルを実施し、新入職員や講習未受講の職員を対象に、ホームページ講習会を開催するとともに個別サポートを展開する。	人事異動や新規採用職員に対し、ホームページの操作説明や情報発信について、説明会を実施した。また、未開設であった保育園、子育て支援センター等に対し、サイト開設まで、研究や個別サポートを行った。	ホームページについて、ホームページのリニューアルに併せ、CMSを導入することにより、合併当初からの課題であった担当職員による安易な更新、迅速な情報提供が出来るようになった。さらに、組織によりグループ化されていた情報をカテゴリグループごとに変更したことにより、安易に検索が出来るホームページとなった。	
	② 情報バリアフリーの推進	学研企画課(全課)	行動計画	調査・研究	→	実施	⇒	⇒	平成24年4月1日からのホームページリニューアル時に、情報バリアフリーも考慮したホームページシステムの導入を行い、情報バリアフリーの推進に努めていく。	ホームページリニューアルに伴い情報アクセシビリティについて、職員研修を行い全庁的に情報バリアフリーの推進に努めた。また、日本工業規格JISX8341-3:2010に基づき、平成25年度末までに等級A準拠を目指し、木津川市ウェブアクセシビリティ方針を定めた。	ホームページについて、ホームページのリニューアルに併せ、CMSを導入することにより、障害者や高齢者に利用しやすいホームページとなった。	

(1) 協働による「共生の市政」の推進

○木津川市行財政改革行動計画進行管理表（平成25年3月末現在進捗状況）

改革項目	実施内容	担当課	前年度評価区分	進行管理(効果見込額 単位:千円)					計画期間中(H20~24)の財政効果見込額 平成20~24年度の財政効果額	平成24年度取組方針 (公表済事項)	平成24年度取組実績	5年間の総括
				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度				
13 広報を「お知らせ型」から「問題提起型」「提案型」に拡充	① 職員向け講習会の実施 目標(毎年1回開催)	学研企画課 (全課)	行動計画	調査・研究	→	段階実施	⇒	⇒	引き続き、アンケート結果を参考に、職員向け講習会の実施等の広報記事充実のための取組みを、ホームページの研修に併せて実施する。 また、広報のアクセシビリティを高め、より親しみやすい広報をめざす。	広報やホームページ作成における注意事項として、市民の親しみのもてる文章、簡潔な記事の書き方などを担当職員に説明した。 また、広報のアクセシビリティを高め、より親しみやすい広報をめざすことから、次の企画に取り組んだ。 ・こども、高齢者、外国人等、多様化するニーズに対応できる幅の広い広報企画 ・シリーズ「絆」 ・広報クイズ	合併当初は、合併による行政サービスの違いについて、市民が混乱しないように事業ごとに丁寧な広報を行ってきた。また、合併当初は、市に親しみをもつことを目的に、木津川市検定を広報の誌面で掲載したり、平成23年度には、広報に関するアンケートを実施し、市民のニーズに沿った広報に取り組むなど、より親しみやすい広報を目指してきた。	
			実績(A)	調査・研究	→	段階実施	⇒	⇒				
14 イベントの整理統合と民営化	① イベントの整理統合と民営化(商工会等による旧町秋祭りの開催)	関係課 (観光商工課)	行動計画	実施 3,500	⇒ 3,500	⇒ 3,500	⇒ 3,500	⇒ 3,500	前年度と同様、地域まつりへの補助を実施	前年度と同様、地域まつりへの補助を実施	旧町単位で行われてきた地域まつりについて、3地域で各1,000千円 計3,000千円の補助金に統一した。	
			実績(A)	実施 3,377	⇒ 3,377	⇒ 3,377	⇒ 3,377	⇒ 3,377				歳出16,885千円減
15 大学等との連携の強化	① 大学との連携	学研企画課 (関係課)	行動計画	調査・研究	→	段階実施	⇒	⇒	引き続き、同志社大学との連携による「赤ちゃんフォーラム」を継続実施するとともに各種連携希望事業の掘り起こし・マッチングを進める。現時点では京都府立大学公共政策学部から実施計画及び行財政改革に関するインターンシップの受け入れを行う。	京都府立大学公共政策学部から、行政マネジメントに関する実習として、インターンシップを3名受け入れた。	京都府立大学公共政策学部から、行政マネジメントに関する実習として、インターンシップを3年間で合計8名を受け入れた。 引き続き、インターンシップの受け入れを行うとともに、各種連携希望事業の掘り起こし・マッチングを進める。	
			実績(B)	調査	段階実施	⇒	⇒	⇒				
16 タウンミーティングやワークショップの実施・拡大	① タウンミーティングの実施	学研企画課 (全課)	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、必要に応じて、ワークショップやタウンミーティングを実施する。	主要な施策等について、市民への説明会等を必要に応じて実施した。	主要な施策等について、市民への説明会等を必要に応じて実施した。	
			実績(B)	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒				
16 タウンミーティングやワークショップの実施・拡大	② ワークショップの実施	関係課 (まちづくり事業推進室)	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	一級河川井関川の河川管理者である京都府と当市並びに住民が参加する方法等を協議し、可能な事業から実施できるよう協議を行う。	井関川環境整備事業計画(府事業主体)について地元役員との協議を重ねる。地元にて「井関川水辺ネット」組織を設立。環境整備として、井関川豊楽橋上流左岸側の整備完了する。	平成20年11月~21年8月まで「井関川出合いの水辺づくりワークショップ」を4回開催し、地元住民を主体に環境整備計画を協議する。A~Fゾーン整備計画を立て平成23年度から本格的に地元役員との整備計画協議を進める。	
			実績(B)	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒				
17 財務諸表の公表	① 財務諸表(4表)の公表	財政課	行動計画	調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒	今後も継続して取り組む。	継続	市が保有する資産、負債等のストックの状況を総括的に表示し、経営資源とその調達財源を明らかにするバランスシートの作成や1年間の行政サービス活動にかかるコストを示した行政コスト計算書等を作成・公表した。このことにより、市民が施策の評価をする重要な情報提供になった。 次年度以降も継続する。	
			実績(A)	調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒				
18 予算、決算等財政状況の公表	① 予算、決算等財政状況の公表(6月、12月)	財政課	行動計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	今後も継続して取り組む。	継続	市の財政状況への理解と、健全な財政運営の構築に繋がった。 次年度以降も継続する。	
			実績(A)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒				